明日のため今日の日本を知る調査

国勢調査 10月1日

十月一日――全国いっせいに国勢調査が行われます。この調査は国の最も基本的な、かつ大規模な調査で、大正九年の第一回以来、五年ごとに実施され、今年ですでに十三回目になります。また、今回は国連のすすめで世界各国が参加する「一九八〇年世界人口・住宅センサス計画」の一環として、国際的にも重要な意義をもっています。調査のあらましをお伝えして、皆さんのご協力をお願いします。

調査のねらい

国勢調査は、全国各地域ごとの人口や男女、年齢、家族構成などの状況を明らかにして、国の政治、行政はもちろんのこと、都道府県や市区町村の地域社会に直結した行政に必要な資料を得るために行われるものです。

たとえば、人口をは握することによって、ゴミ汚水処理や学校などの公共施設、交通機関や住宅の確保など、また、高齢化の進むなかで、年齢構成をつかむことによって、社会福祉や雇用などの行政に生かされ、わが国が抱えるさまざまな問題への大切な資料となります。

調査票は
9月30日までに
お手もとに
10月5日までに回収

調査のしくみとその対象者

国勢調査は、国内に住んでいる全ての人が対象になります。

調査票は調査員により、九月三十日までにお宅に届けられ、十月五日までに集められます。

調査票の記入には黒鉛筆の使用を

調査票記入に当っては、必ず黒鉛筆を使用され、十月一日現在で記入願います。

調査の対象となる方は、住民基本台帳の登録とは関係なしに原則として市に三カ月以上住んでいる方全員とします。

調査することがら

①氏名、②男女の別、③世帯主との続柄、④生年月日、⑤配偶者の有無、⑥仕事をしたかどうか、⑦従業又は通学地、⑧勤め先、事業の種類、⑨本人の仕事の種類、⑩最終卒業学校の種類⑪家計の収入の種類、⑫世帯の種類、⑬世帯人員、⑭住居の種類、⑮居住室数、⑯居住室の畳数……などについて調査します

個人の秘密は固く守られます

調査票に記入していただいた個人や家庭の秘密をもらしたりそれを目的以外の使用、たとえば税金などに使うことは法律でも固く禁じられており、そのようなことは絶対ありませんので安心して正確な内容を記入してください。

ナンバー・ワン登場

長田さん(左)　佐藤さん(右)

第一回 阿仁川下りゴムボート大会 優勝 長田常雄さん(35) 佐藤隆男さん(35)

八月十六日、阿仁町で行われた「第一回阿仁川下りゴムボート大会」で、当市から参加した長田さん（鉄砲場）と佐藤さん（清水町）のチームが圧倒的な強さでみごと優勝しました。

この大会は、急流あり、浅瀬あり、岩ありの変化に富んだ阿仁川約十五㌔をゴムボートで下るもので、県内各地から七十五チーム、百五十七人が参加して行われたものです。

長田さん、佐藤さんは同じ年で同じ職場、魚釣、山菜とりなどいつもいっしょの気の合う友だち。このチームワークの良さが優勝への大きな原動力。

「最初のスタートが我々でペースがわからなく、かえってマイペースで行ったのが良かったと思います」と長田さん。「バランスよく流れに乗り急流と浅瀬をうまく通り抜けたから……」と佐藤さん。

この日は当市では夏まつり戦い済んで帰宅すると花火と大文字が二人を祝福、その夜の祝酒は最高にうまかったことでしょう。

来年もまた記録更新をめざし参加するとのことガンバレ

広くなった〝四十八滝〟身障者センター増築工事完了

市立身体障害者福祉センター〝四十八滝〟の増築改装工事が完了し、明るく広くなった施設は、連日たくさんの方々に利用されています。

同センターは、昭和四十四年に長木沢渓谷と秋田杉美林を見渡せる雪沢大滝地内に建設されたものですが、年々利用者が増えていることなどから、このほど約九百万円をかけて大広間や浴室の増築を行ったものです。

どなたでも気軽に利用できます。グループで、ご家族連れで秋の一日をお過ごしください。

◇**申し込み**
身体障害者福祉センター
〝四十八滝〟☎48―3247

◇**宿泊料**（一泊二食付）
大人・三千四百円
小学生・二千五百円

◇**休憩料**（個室）
大人・七百円　小学生・四百円

◇**交通案内**――小坂行定期バスが施設前に止まります。

市長の対話ノート №19

〝冷夏〟この異常気象は私たちの生活に直接間接に大きな影響を与えました。そして迎える先にどんな現象が出るだろうかと心配されるところであります。

独善と偏見

「市民と語る会」を開かせていただいていますが、その対話の中で「市民運動会という名で市は自主的活動をとりあげ、事実上は市役所の運動会をやろうとしているのではないか」

まさに独善と偏見の見本みたいな質問でした。体協にお願いしてやって来た運動会ですが、特定の参加であり困難も多いということから、勇断で全市民参加の方向を求めたものですし、市役所の運動会なんてものではなく、地区公民館長さんに大変ご難儀をお願いしながらの地区（学区）対抗のものです。

まず事実を知り、目的を知り、その展望の上での批判、評価はいくらあっても大歓迎ですが、自分勝手な予測と見方、そして自分だけが正しいと思い込み、それで支配し又はしようとすることは民主々義社会の最大の弊害ではないでしょうか。

それにつけても、他人まかせだけではなく農業者の意見も行動も求めなければなりません。みなさんの進んでの行動は決して無にいたしませんから〝自力更生〟の意欲で頑張ってください。共々に最善をつくしましょう。

他人ごとではなく自分にもそんな一面がありはしないだろうか、私も含めてお互いに真剣に反省してみたいものです。

自力更生

冷夏どころか冷害が決定的となり、その程度が日を追って大きくなって参りました。減反、低米価に追い討ちをかけるような出来事で農業者のみなさんは大変だろうと存します。私たちも国には天災融資法の発動を求めておりますし、それによって生活、営農資金対策と市民税をはじめ減免措置をとらなければなりませんし、秋から冬場に向けて救農土木的公共事業を国や県にも働きかけながら起して行かなければならないと決意しております。

角山健治郎

期待される新エネルギー開発 ⑧ 水素燃焼

水で自動車が動く？

無尽蔵にある水を利用する水素エネルギーの技術開発が、いま世界中で進められています。航空機の燃料に液体水素を使おうという国際的な共同研究は、七年後の実験運行をめざしており、自動車の世界でも〝液体水素機〟や〝水素自動車〟の実用化に向けて各国の大学や企業が研究を開始しており、二十年後には水素エネルギー時代がやってくるといわれています。

水素燃料の利点は、原料となる水がいたるところにあること。燃焼による有害ガスがほとんどゼロで大気の汚染がないこと。それに着火性がよいことなどがあげられます。しかし、問題点もなくはありません。燃焼速度が速いことや金属をもろくする性質があるので水素に強い容器の開発が必要なこと。それに密度が非常に小さいので、バカでかいタンクが必要なことなのです。しかしこの点は、水素を吸収し、暖めると水素を放つ不思議な金属が発見されており、何とかすぐれた貯蔵法が見つかりそうです。残る難題が、製造コストです。

先進国は今、水素の効率的、経済的な製造技術の完成へ向けて、科学者や技術者が知恵をしぼり、しのぎを削っているところです。

あなたの街です。自然です。
Clean

毋月25日は国税相談日
時間・午前10時～午後4時